



令和5 年度 環境経営レポート

(対象期間 令和5年5月1日～ 令和6年4月30日)



発行日： 令和6年7月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

株式会社セノオは、徳島県内を主体として土木工事業を行っています。
土木構造物等の建設活動を通じて地球や地域の環境を守り、次世代により良い
環境を引き継いでいく為、企業活動において環境負荷を低減していきます。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社セノオは、土木構造物等の建設活動を通じて、生活や産業の基盤となる良質の
社会資本を提供するとともに、継続した企業活動を通じて組織的な環境保全を図り、自主
的かつ積極的に快適な、地域に優しい環境づくりへの取組を推進します。

<環境保全への行動指針>

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。
 - 1) . 二酸化炭素の削減に取り組む
 - 2) . 騒音・振動・粉じんの対策を講じて建設現場周辺の環境保全活動を推進する
 - 3) . ボランティア活動へ積極的に参加し、環境保全に貢献する
 - 4) . 社員及び協力会社等の関係者に環境方針を公表し、環境負荷低減意識の向上に努める
 - 5) . 水使用量の削減、および廃棄物の削減、リサイクルに積極的に取り組むこれらについて環境目標、環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の同意する要求事項を遵守します。

制定日：2022年9月17日

改定日：2024年12月2日

代表取締役社長 兼子 信之

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社セノオ

代表取締役 兼子 信之

(2) 所在地

本社 徳島県徳島市金沢一丁目5番11号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部 久米 康之

TEL : 088-664-6555

担当者 管理部 久米 康之

TEL : 088-664-6555

(4) 事業内容

特定建設業(土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、水道、解体)

許可番号:徳島県知事許可(特-06)第711号 有効期限:令和11年11月15日

一般建設業(建築)

許可番号:徳島県知事許可(般-06)第711号 有効期限:令和11年11月15日

産業廃棄物収集運搬業

許可番号:3600226699 有効期限:令和9年3月22日

(5) 事業の規模

売上高 8 億円

	本 社	資材倉庫	合計
従業員 名	15 名	無人	15
延べ床面積 m ²	387.42 m ²	18.03 m ²	405.45

(6) 事業年度

5月～4月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社セノオ

対象事業所: 本社・資材倉庫

対象外: なし

活動: 建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道工事業、解体工事業

□事業や製品(商品)の紹介

株式会社セノオ

主要施工実績

TOP 会社概要 実績紹介

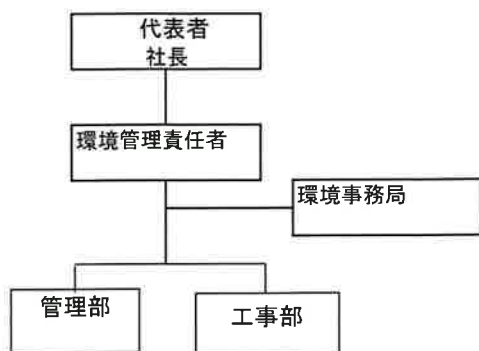


R2 徳島 徳島小松島港 (津田地区) 徳島・津田地区 道路工事 (5)	
竣工年度	令和4年度
R10	徳島県
工事場所	徳島市津田地区津田(津田町界)

令和3年度 横断道沖洲改良工事

竣工年度	令和3年度
竣工所	徳島県徳島市
工事場所	徳島市北洲地区沖洲改良工事





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標、環境活動計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標、環境活動計画を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・各部門の緊急事態への対応のための手順書作成、試行、訓練実施、記録の作成
各部長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	令和4年度(基準)	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	85,261.6	58,505.8	52,024.4
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.640	0.382	1.4
産業廃棄物排出量	トン	10771.99	3040.72	3895.49
総排水量	m ³	2002	1,353	3,401

※二酸化炭素排出係数 0.54 kg-CO₂/kWh 出光興産㈱の調整後の係数
0.569 kg-CO₂/kWh 四国電力㈱の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		令和4年度	令和5年度		評 価	令和6年度	令和7年度
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	kg-CO ₂	85,261.6				82,703.7	81,851.1
	基準年度比		83,556.3 ▲2%	52,024.4 160.6%	○	▲3%	▲4%
電力使用量 (kWh)	kWh	68,790				66,726.3	66,038.4
	基準年度比		67,414.2 ▲2%	41,392.0 162.9%	○	▲3%	▲4%
燃料使用量 灯油 (L) (事務所)	L	800				776	768
	基準年度比		784.0 ▲2%	975 80.4%	×	▲3%	▲4%
ガソリン (L)	L	8,975.1				8,705.8	8,616.0
	基準年度比		8,795.5 ▲2%	5,198.44 169.2%	○	▲3%	▲4%
軽油 (L)	L	8,167.05				7,922.00	7,840.30
	基準年度比		8,003.7 ▲2%	5,383.61 148.7%	○	▲3%	▲4%
廃棄物 一般廃棄物(kg)	kg	640.0				620.080	614.400
	基準年度比		627.0 ▲2%	1,430.0 43.8%	×	▲3%	▲4%
産業廃棄物(t)	t	10,771.99				10,448.80	10,341.10
	基準年度比		10,556.6 ▲2%	3,895.00 271.0%	○	▲3%	▲4%
水使用量 (m ³)	m ³	2,002				1,941	1,922
	基準年度比		1,961.0 ▲2%	3,401 57.7%	×	▲3%	▲4%
グリーン購入 (ファイル) グリーン商品 (品目)	品目	17				20	21
	基準年度比		19.0 +11%	14 73.7%	×	▲18%	▲24%
産業廃棄物の再資源化 の推進 (%)	%	88.7				100.0	100.0
	基準年度比		100.0 +11%	100.0 100.0%	○	▲13%	▲13%
化学物質使用量の把握 (会議) (1回)	回	1				1	1
	基準年度比		1 100.0%	1 100.0%	○		
社会貢献活動 (清掃活動) (5人/回)	回	4				4	4
	基準年度比		4 100.0%	4 100.0%	○		

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力の使用量の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用頻度の低い箇所の照明OFF・エアコン温度設定・清掃等、概ね達成できた。パソコンの不使用时電源OFFを忘れる時があり、設定し直したうえ、目につく所に周知のチラシを貼るなどして対応する。月別目標値を見直し、環境経営活動計画を継続実施する。
使用頻度の低い箇所の照明OFF	◎	
パソコン、コピー機の不使用时電源OFF	○	
エアコン温度設定・夏場28℃冬場24℃	○	
照明器具・クーラー・窓の掃除	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	1,000.0	1,211.0	1,650.0	1,700.0	1,400.2	1,401.2	1,401.3	1,401.3	1,650.0	1,600.0	1,300.0	1,100.0	16,815.0
実績	768.0	964.0	2,314.0	1,921.0	1,956.0	716.0	955.0	1,447.0	2,069.0	1,605.0	1,627.0	939.0	17,281.0

電力の使用量の削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	不要時電源OFF・空調の適温化・建設機械の点検・過積載防止等、全て達成でき、安全に施工することができた。環境経営活動計画を継続実施する。
生コン使用工種の最適時期施工	◎	
現場事務所の不使用时の電気OFF	◎	
使用工具の不必要時電源OFF	◎	
空調の適温化	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	1,073.9	2,173.9	6,574.9	9,274.0	7,573.0	4,123.9	4,123.9	4,123.9	3,411.1	3,473.9	3,273.9	1,573.9	50,774.2
実績	1,127.0	1,041.0	1,209.0	2,319.0	2,753.0	2,343.0	1,485.0	1,912.0	2,359.0	3,189.0	2,445.0	1,920.0	24,102.0

燃料の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	社用車を追加導入した為、目標数値の達成に至らない月があった。見直しの上取り組みを実施する。
Ecoドライブの励行	◎	
適正な車両整備	◎	
事前ルート検索	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	146.70	146.70	146.70	146.70	150.70	78.20	78.20	78.30	151.70	151.70	151.70	151.70	1,579.0
実績	97.00	140.00	99.30	151.80	141.50	74.00	78.00	150.00	95.80	153.10	65.00	121.60	1,367.1

燃料の削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	車両整備を怠らず、アイドリングストップを実施するなどして、環境経営目標を達成することができた。環境経営活動計画を継続実施する。
Ecoドライブの励行	◎	
適正な車両整備	◎	
事前ルート検索	◎	
建設機械の過剰負荷防止	◎	
建設機械の不要時停止	◎	
建設機械の点検	◎	
建設機械の過積載防止	◎	
建設機械の無理・無駄運転防止	◎	
資材発注のチェック	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	580.80	580.80	580.79	580.75	580.70	654.19	654.19	654.19	580.70	588.70	586.93	588.81	7,211.6
実績	228.50	292.00	275.04	351.30	534.50	334.90	427.10	329.05	250.29	394.58	147.00	267.08	3,831.3

軽油の削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	車両整備を怠らず、アイドリングストップを実施するなどして、環境経営目標を達成することができた。環境経営活動計画を継続実施する。
アイドリングストップ	◎	
不要時停止	◎	
過剰負荷防止	◎	
事前ルート検索	◎	

軽油の削減	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	666.90	8,002.8
実績	268.34	644.00	103.00	0.00	1,404.00	987.00	248.00	772.00	0.00	113.00	687.00	157.27	5,383.6

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	社内・敷地内の清掃をこまめに行い排出が多くなった。適切に分類ができている状況を維持したい。目標数値の見直しも検討し、環境経営活動計画を継続実施する。
裏紙の利用	◎	
印刷前確認(プレビュー)	◎	
無駄なプリントアウトを抑える	○	図面等を多く作成したなどで目標をできなかった。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	0.053	0.052	0.052	0.052	0.052	0.052	0.053	0.060	0.051	0.050	0.050	0.050	0.627
実績	0.000	0.000	0.390	0.000	0.000	0.000	0.000	0.390	0.000	0.000	0.000	0.650	1.430

産業廃棄物の削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標数値を達成することができた。環境経営活動計画を継続実施する。
マニフェストによる廃棄物の適正な処理	◎	
廃棄物の保管場所と掲示板	◎	
廃棄物焼却の環境への配慮	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	878.56	878.56	878.56	878.56	878.56	878.55	878.56	878.56	878.56	878.56	880.88	888.56	10,555.03
実績	215.18	2,004.91	1.34	2.10	2.66	47.14	14.56	259.14	1.86	1,317.19	26.39	2.97	3,895.44



水使用量の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	節水は日々の積み重ねという事を念頭に置き、それを周知し、今後も節水活動を推進し、環境経営活動計画を継続実施する。
日常的節水の励行	○	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	11.0	0.0	12.0	0.0	12.0	5.8	6.7	6.7	12.0	0.0	12.0	0.0	78.2
実績	14.0	0.0	16.0	0.0	12.0	0.0	15.0	0.0	13.0	0.0	14.0	0.0	84.0

水使用量の削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	水を多量に使用する工事があった為、目標数値を達成できない月があった。今後も節水活動を推進し、環境経営活動計画を継続実施する。
日常的節水の励行	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	156.5	156.5	157.0	156.5	156.5	156.3	156.3	156.4	156.5	156.5	157.3	158.5	1,880.8
実績	75.0	136.0	0.0	312.0	0.0	1,641.0	0.0	163.0	0.0	40.0	0.0	938.0	3,305.0

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	用品発注時にエコマーク・グリーンマーク商品を選定し、環境経営活動計画を継続実施する。
エコマーク商品を積極的に購入する	△	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	1	2	1	2	1	1	1	2	1	2	2	3	19
実績	1	1	2	1	0	2	1	2	2	1	0	1	14

化学物質の把握	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用状況調査を定期的に行う。環境経営活動計画を継続実施する。
化学物質の使用状況の調査	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
実績	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

清掃活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	社員が積極的に参加できており、周辺環境への配慮意識も高まっている。環境経営活動計画を継続実施する。
徳島県アドプト(県道189号)の清掃	◎	

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
目標	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
実績	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	要求事項
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃プラ等）	マニフェスト管理、委託契約書締結
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	再資源化等完了報告
騒音規制法	鋼管杭打機、大型発電機	事前届け出
振動規制法	鋼管杭打機	事前届け出
浄化槽法	浄化槽	水質検査、保守点検
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫	3ヶ月に1回の簡易点検
顧客要求事項	品質管理	特記事項に遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局より違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 令和5年11月30日	■実施場所 本社3階給湯室
■参加者： 工事部2名	■実施内容 消火訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
本社3階給湯室にて火元を確認した想定での消火模擬訓練。 火元が拡散する前に消火を行う事（火元確認から10分以内）を目標とし、消火器2器で消火対応。 結果、5分で火元参集・模擬消火が完了し、目標時間よりも短い時間で対応できた。	
■実施状況の様子	

今期のエコアクション21への取り組みにおいて、環境負荷の低減のための目標数値は、一部を除いて達成する事ができた。これもひとえに社員全員の目標クリアに対する意識の向上と積極的な取り組みのおかげであり、社員の皆さんに感謝申し上げたい。ただ、「一般廃棄物」「水使用量の削減」における目標数値の変更の必要性が発生しているので改善点として提案し、見直しの指示を行う。

なお、前回の全体評価でも述べたとおり、環境対策は今や企業としての社会的責任とみなされ、現場における作業は、周辺住民から注目されているという事を常に意識し、今後も最大限工夫を凝らしながら、環境活動の推進を行っていただきたい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

